

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		(急)中組		
事業毎の通番		5		市町村名		伊那市		
事業毎の通番		5		箇所名(ふりがな)		中組(なかぐみ)		
事業概要	事業目的	当箇所は、最大勾配45°、最大高さ36mの急斜面で、保全対象として人家が6戸、寺院、県道、市道、地域防災計画記載の避難所である東春近小学校が存在する。風化侵食が進み斜面内には小規模な崩壊が生じており、今後の豪雨や地震等により斜面が崩壊する危険性が高い。このため早急に対策を実施する必要がある。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法		
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象: 人家6戸、寺院、県道沢渡高遠線、市道車屋学校線、東春近小学校【避難所】						
	着手年度	平成28年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	4.6	国庫	142,500	15,000	128,250
	全体事業内容(主な工種)	法面工 L=300m			300,000	142,500	15,000	128,250
年度事業内容(主な工種)	・地質調査 1式 ・地形測量 1式 ・詳細設計 1式			15,000	7,125	750	6,413	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	施設整備による土砂災害特別警戒区域指定の解除						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	○人家戸数: 6戸 ○公共施設数: 3施設 ○要配慮者利用施設の有無: 無 ○避難場所、避難経路の有無: 避難所有					評価	B
	重要性	○過去の災害履歴: 災害履歴地 ○交通遮断による地域経済への影響: 大 ○地域防災計画上の位置付け: 有					評価	A
	効率性	○費用便益比: 4.62 ○事業期間: 6年間 ○工法等の比較検討: 検討無					評価	B
	緊急性	○斜面の高さ: 平均高さ32m Hmax36m ○斜面平均勾配: 34° ○地質: 段丘堆積物 ○斜面形状: 直線斜面					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有: 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み: 協力的である ○地域の合意形成: 事業目的について地域の合意形成が図られている ○住民との協働: 住民独自の取り組みが予定されている					評価	A
	部意見	保全対象に人家6戸、避難所である東春近小学校等がある。斜面は風化による浸食が進んでおり、早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		勾配45°、高さ36mの急斜面が風化等により不安定な状態で、保全対象に人家、県道、市道、避難所となる小学校があることから、重要性が認められる。	評価結果	総合評価
						○	A	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当箇所は、最大勾配45°、最大高さ36mの急斜面で、保全対象として人家が6戸、寺院、県道、市道、東春近小学校が存在し、地域防災計画記載の避難所である東春近小学校が土砂災害防止法の特別警戒区域に入っている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地元より早期の斜面対策を求められ例年地元要望あり。	
	③事業説明等の経緯	平成25年2月土砂法説明会開催。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	施設整備による特別警戒区域の解除により、付近の土地利用の活性化が期待される。	
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯: N 35° 48' 31.81" 東経: E 137° 57' 34.11"